

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志
印刷所 株式会社きかんし



熱く語る古屋安雄氏、
1926年上海の生まれ、83歳。

教師間の信頼関係が問われる時に 教師会訪問(西東京・東京東支区)

1%を超える道―日本における伝道を考える

西東京教区一泊教師研修会

2月1、2日、高尾わくわくヴィレッジを会場に、西東京教区一泊教師研修会が開催された。主題は、「1%を超える道―日本における伝道を考える」。講師は古屋安雄聖学院大学教授。講師紹介には、1926年上海の生まれと記されている。誕生日には84歳となる勘定だが、年齢を感じさせない。外見も若くトレードマークの蝶ネクタイも映えるが、そういうことではない、何しろ考え方が若々しい。大いに刺激を受け、深く考えさせられた。

氏自身が冒頭に述べたように、「近著『何故日本にキリスト教は広まらないのか』にも記した持論が、「サムライ」をキーワードに、大胆に分かり易く展開された。

明治初頭のキリスト教は、植村正久等の旧武士階級出身者によって担われた。以来150年間、人口の5%に過ぎない「サムライ」が、人口の5%に満たないインテリ階層を伝道対象にし、あまり労・農者を相手にして来なかった。今日も、庶民、大衆、本を読まない若者への伝道を考慮に入れていない。それでは到底「1%を超える道」は開けない。最低10%にならないければ、この世に影響を持ち得ず、この世を変えることは出来ない。

「サムライ」は、苦渋に満ちたような顔をして、難しい話をするのを美德と心得ている。結果、教員は小難しい話を喜ぶ者に限定されてしまう。頭ではなく、行動、実践に結び付くもの、観念ではなく実態を伴ったものが求められる。説教も、語る・教えることよりも、信徒に聞くことに力点を移さなければ、本当の伝道力にはならない。

話題は、天皇制とキリスト教、戦時中の教会の現実、更に、賀川豊彦の「神の国運動」に発展し、後から振り返ると煙に巻かれてしまったという気持ちがある程に、自由自在に展開された。しかし、主題は一貫していたように思う。

大衆への伝道について、節制・禁欲を旨とする「サムライ」的視点ではなく、お祭り好きな日本人を見据えて、讃美・礼拝を改

革しなくてはならないというところに話が及ぶ。会費を安く抑えるために用いられた宿は、以前は高校の校舎だったとのこと、4人一部屋で遅くまで話し込み、神学生に戻ったようだった。講師の話がありがたく拝聴しただけでない。「量より質が大事だ、地の塩は1

教師会の充実こそが、メンタルケアの第一歩

東京教区東支区教師会総会



出席25名はちょっと寂しいし、もったいない

も3回だった。顔を合わせる回数を増やしたい。顔を合わせることで、もっと互いから学び、悩みも分かち合いたい。

以上を、評価と展望として、10年度活動計画の協議では、教師会開催を倍に増やすことが提案され、決議された。特に、一泊研修会では今橋朗氏を講師に迎え、「超越の食事」を体験するべく準備が進められている。ユタヤ教の礼拝を体験することが計画されていることも発表された。

また、質疑では、牧師のメンタルヘルスについて、単に学ぶだけではなく、グループ作りに踏み込むべきだとの提案がなされた。このことを巡り、ひとしきり情報交換がなされ、また、グループミーティングの実現については、積極論と慎

会期中に行われた三つの礼拝(説教)も感銘深いものだった。河村博調布教会牧師は、開会礼拝説教で、障がい故に、自分の口で信仰告白し洗礼を受けることができなかった一人の女性の、役員会・教会の取り組みを具体例として上げて、マルコ福音書2章1、12節の「中風の者の癒し」と重ねた。

三位一体、それぞれ個性・持ち味が溢れ、教師を立て清めて用いて下さる方の豊かさを思わされた。

堂建築の実体験と絡めて、コリント1節について、七條真明高井戸教会牧師は、コリント9章19、23節を取り上げ、「十把一絡げの伝道ではなく、目の前の一人ひとりの伝道であつた」とパウロの伝道姿勢を論じ、「伝道は愛の業、贖罪の愛」と述べた。

その後、参加者25名全員が、一人ずつ近況を発表した。この時点で残り時間は40分だったが、ほぼピタリの時間で終了した。

議事は先立つ礼拝では、池田多実男牧師(江戸川教会)が、コリント10章23節、11章1節に基づき、説

教した。特に11章1節について、『あなたがたもこのわたしに倣う者となりなさい』とあるが、それは『わたしがキリストに倣う者であるように』を前提としている、パウロに倣いなさいではない、キリストに倣う者になりなさいということだとし、真の意味でキリストに倣うことの意味を、テキスト・持ち味が溢れ、教師を立て清めて用いて下さる方に力強い説得力に満ちた証しだった。

教師会(総会)に引き続き、下谷教会内で部屋を移し、東支区伊豆諸島伝道委員会が持たれた。常のことだそう。往復の時間、交通費の負担が大きいので節約するためであり、そもそも、伊豆諸島の諸教会が彼の地で集まることは、交通の上で極めて困難だ。この日の協議は専ら本年5月に開催する予定の「第40回伊豆諸島連合修養会」についてであったが、時間が最も頭を悩ませる審議事項だったかも知れない。今会場は大島、例えば八丈島から参加するには、一端東京に出て一泊するか、府中経由で飛行機に乗るか、結局は、ヘリコプターを用いることに結論づいた。ところで、三宅島は、他の島は、修養会の時間割は、交通に合わせるしかない。

大島の2教会を会場に、大島にゆかりのある石井錦一牧師(松戸教会)を講師に迎えて行われる5月の集会が、実り豊かなものになるようにと祈る。

▼日本伝道150年記念式典での、山北宣久議長の説教に、「国語辞典は愛で始まり、腕力で終わる」という一節があった。新報編集委員会では、いろいろな辞書に当たった。該当する辞書も見つけたが、愛で始まり、ワンワンで終わるものもあった。これは愛犬が喜びそう。嗚呼が最初のものもある。んも、ちゃんとする。▼委員の間で話が弾む。「嗚呼で始まり、ンーンで終わるのがいい、どこか哲学的だ」、「愛で始まり、和で終わるのはどう、仏教的かな」、「聖書大辞典はアアメンで始まり、わんで終わる。わんはお碗のことで、これは土の器だ」と、説教が始まる。

▼「名なしの探偵」シリーズで知られるビル・ブロンジーは、言葉遊びが大好きだ。『決戦!プロロズ・ボウル』などは全編言葉遊びで出来ている。『名なしの探偵』に類する独特の言い回しを借りる。戒規は、辞書で見れば、「怪奇」の後で、「会議」の前にある。▼「正義」は「性急」と、「請求」の前で、「正規」正しい決まりごと「の」後にある。「違反」は「いばり」威張り、尿いばり「いびき」の間にある。ブロンジーそのものの引用は、全作品を読み直さなくてはならないので諦めた。▼私たちの信仰では、言葉は命だ。教会の辞書は、『愛』で始まり、『Xmas』で終わるのはどうだろう。

声
荒野
教に、「国語辞典は愛で始まり、腕力で終わる」という一節があった。新報編集委員会では、いろいろな辞書に当たった。該当する辞書も見つけたが、愛で始まり、ワンワンで終わるものもあった。これは愛犬が喜びそう。嗚呼が最初のものもある。んも、ちゃんとする。▼委員の間で話が弾む。「嗚呼で始まり、ンーンで終わるのがいい、どこか哲学的だ」、「愛で始まり、和で終わるのはどう、仏教的かな」、「聖書大辞典はアアメンで始まり、わんで終わる。わんはお碗のことで、これは土の器だ」と、説教が始まる。



信託職制委員会、岡本知之委員長 (西宮教会)

教師戒規に関して諮問 2 件に答申

第 4 回信託職制委員会

第 36 総会期の第 4 回信託職制委員会が 1 月 25 日 (月) 26 日 (火) に、委員 7 名全員の出席のもと教団会議室で行われた。

今回、以下の二つの諮問に対して答申が出された。

二つとも、教師の戒規に関するものであった。その要旨は、

一、「教師委員会の『内規』について」(北海教区から)の 2009 年 7 月 13 日に改定した教師委員会の「教師の戒規適用に関する内規」に対する疑義に

関しては、

(1) この内規には、戒規発動の要請主体については規定されていません。戒規発動の要請主体については、先例集 96 を指針として尊重されることを望みます。

(2) 各委員会の内規に関しては、その権限に属する事項について内規を設け、またそれを改廃することが出来る(教規施行細則第 9 条①)ものです。従って内規の規定がもたらすと考えられる問題に

1 月 18 日 (月) 第 36 総会期第 4 回宣教研究所委員会が開催された。

今回、もっとも時間を費やしたのは「新信仰問答」

の作成に関する件である。今期の宣教研究所委員会が教団信仰告白に対応する新しい信仰問答について研究を進めていることは、これ

までの教団新報紙上において報告してきたところである。第 3 回常議員会において 2 回の作業を経て今回の委員会に原案が提案された。提出さ

れた原案は教団信仰告白のうち使徒信条の前の部分までである。そこで序から始まり第 5 部までの構成となっている。この原案について、委員全員でひと項目ずつ読み合わせをしなが

る。前記のように第 3 回常議員会において報告はなされたところであるが、今後は発行に際し、信託職制委員会の協力も必要と考え、協力を得るための手続きを進めて行きたい。

この新信仰問答の原案を作成する過程で諸研究が基礎的に行われたわけであるが、その基礎研究を「新信仰問答解説書」として使用する形にして発行することも検討している。

その他の報告事項としては、2 月 8 ～ 9 日に開催される西日本 5 教区宣教研究協議会には道家紀一幹事が参加することとした。

(長谷川洋介報)

補教師 59 名、正教師 8 名の受験資格確認

第 5 回教師検定委員会



教師検定委員会、倉橋康夫委員長 (富士見町教会)

第 36 総会期の第 5 回教師検定委員会が、1 月 25 日 (月) 26 日 (火)、教団会議室において、委員 7 名全員が出席して行われた。

委員長・事務局報告は次の通り。教師検定規則第 4 条変更の常議員会可決を受けて、変更規則本文と規則

運用のための資料を「教師検定試験受験の手引き」と一緒に各神学校に送付した。「手引き」は、教区事務局にも送付し、教団新報に案内文を掲載、申込みに応じて販売している。12 月 1 日付けで 1000 部印刷し、1 月中旬、1000 部増

刷した。

なお、「手引き」に紹介した参考書が絶版で入手できないとの苦情を受けて、教団出版局刊行の書籍についてオンデマンド出版を依頼し、委員会が買い取る形で補助し、希望者に販売することとした。

次に、2010 年春季教師検定試験の準備を行った。試験日程と会場について確認し、補教師受験志願者 59 名と正教師受験志願者 8 名の受験資格を、個別に照会した上で確認した。試験に関しては、次のように協議をし、決定した。まず、提出物(釈義、説教、神学論文等)の採点結果を突き合わせ、合否判定、再提出等、それぞれを確定した。続いて、学科試験問題を作成し、決定した。個人面接については、受験者の居住

地に配慮し、原則的に遠距離の受験者から行うこととした。受験費用援助に関し、今回申請書が提出された 16 件について、これを検討し、承認した。

また、教師転入志願者に対して試験を実施することについて、内規に明記する

こととした。

最後に、教師検定規則第 4 条変更を受けて、変更規則に基づき試験実施に向けて、規則運用の手順、今後の作業工程等について協議した。委員会作成の工程表をたたき台として各神学校に送付し、意見を聞くこととした。

◇今回は、転入志願者 2 名を加えて受験志願者総数は 69 名(前年比 17 名減)となりました。神の召しを問いつつなされる受験準備の上に、主の祝福と支え・導きを祈ります。

(東野尚志報)

後世に遺すための冊子を作成へ

日本伝道 150 年記念行事委員会

第 36 総会期第 15 回の「日本伝道 150 年記念行事準備委員会」が 1 月 15 日 (金)、教団遺愛会議室において行われた。

記念行事については、教団新報 4690・91 号に報告した通り、主の祝福のもとに行われた。

今回の委員会において新たに取組むことを決定したのは、「日本伝道 150 年」を記念して行われた諸行事を記録し、後世に遺すための冊子を作成することである。

全国諸教会よりの献金で、伝道 150 年を記念す

冊子を印刷する余裕があることは感謝である。この冊子には、教団の行事はもとより、各教区や各個教会、有志によって行われたものについても記録したいと願っている。

日本基督教団全体の中で、伝道 150 年を記念す

るためにどのようなことが行われたかを一覧できるものとした。

◇そこで各教区、諸教会の皆さんに願います。昨年「日本伝道 150 年

と銘打って行われた行事、集会イベント等について、名称、日時、会場、内容、参加者数等の報告を当委員会宛にお寄せ下さい。今年

うに印刷したいと願っています。

(藤掛順一報)

〒169-00051
東京都新宿区西早稲田
2-3-18-31
日本基督教団事務局

日本伝道 150 年記念－信仰生活 50 年感謝礼拝

日本基督教団東京地域の諸教会の皆様

東京信徒会 会長 鈴木功男

副会長 川上郁夫

「日本伝道 150 年記念 信仰生活 50 年感謝礼拝」のご案内を申し上げます。

日本伝道 150 年記念の年、信仰生活 50 年以上を迎えられた方は、教師・信徒大勢おられます。宣教 100 周年以降の日本基督教団の歴史と共に歩まれ、主によって養われた信仰生活 50 年は、まさに日本伝道 150 年の 3 分の 1 を栄光ある主に共に与ることができたこととなります。この豊かなお恵みを感謝し、主のご栄光を讃え、信仰の継承が主によって導かれることを願いつつ、聖餐と共に与る「日本伝道 150 年記念－信仰生活 50 年感謝礼拝」をお捧げいたします。

つきましては、準備の都合がございますので、御教会で信仰生活 50 年以上の教師・信徒のお名前・受洗年・出席をご記入の上、2 月 28 日まで、下記 FAX 番号宛に返事くださいますようお願いいたします。

◎日時：3 月 22 日 (月・振替休日) 13:30～16:00

◎会場教会：東京山手教会

◎説教：長崎哲夫牧師 (東京山手教会)

◎演奏：佐藤尚子姉 (東京山手教会オルガニスト)

◎聖餐式

礼拝終了後 ①記念写真撮影 ②お茶会

主催：東京信徒会 (FAX: 03-3203-4269)

兵庫県南部大地震記念の日 追悼礼拝

被災地・神戸では1995年1月17日の兵庫県南部大地震以来、毎年追悼の祈りを込めてこの日に礼拝を続けています。震災10年を契機に、改めて『兵庫県南部大地震記念の日』追悼礼拝」と位置づけ、礼拝してきました。今年も17日夕、被災当時救援活動の拠点として、また遺体安置所として役割を担った神戸教会を会場に、関西だけでなく全国から244人の出席者を得て礼拝を行いました。



救援活動の拠点、遺体安置所だった神戸教会を会場に

今年に開催された。そのことも含めて、今回は報告をさせていただきます。

追悼礼拝の準備においては、被災後当初はご本人が被災を経験された方に追悼の意を込めて説教をお願いしていましたが、「あの時」のみならず、その後長く続いている被災者・ご遺族の痛みと関わり、以後発生した災害を含め支援活動の働きを共有することも「追悼」の要素として欠かれないと考え、説教者の依頼をする形になっていました。今回穂積さんをお願いしたことは、その思いも強く働いています。

追悼礼拝においては、「1月17日人と自然の共存を祈る」に加え、毎年「震災5年目の宣教にあたっての告白」を全員で唱えています。

また「大地震子ども追悼コンサート」の中で作られたうたを毎回歌ってきています。また直前のハイチ大地震を踏まえ、礼拝献金の送付先に緊急に長田センターを通じての救援募金を追加しました。震災15年が経過し、関わる者の間においてさえ体験や課題の継承が決して簡単でなくなっている中、様々な意見があることは承知しています。被災者が分断され見えなくさせられていく中、また新たな大規模災害が発生するたびマスコミを始め一般の関心が集中してその前の被災地へ

さんと日常接していた者としては、普段働かれる姿の奥にある思いの深さに思い至らされるものであります。この追悼礼拝説教については、各教区総会で配布予定の『兵庫県震災ニュース』に全文を掲載する準備を進めています。どうぞその文章をお読みいただき、思いを共にしていただければと願っています。

追悼礼拝においては、「1月17日人と自然の共存を祈る」に加え、毎年「震災5年目の宣教にあたっての告白」を全員で唱えています。

また「大地震子ども追悼コンサート」の中で作られたうたを毎回歌ってきています。また直前のハイチ大地震を踏まえ、礼拝献金の送付先に緊急に長田センターを通じての救援募金を追加しました。震災15年が経過し、関わる者の間においてさえ体験や課題の継承が決して簡単でなくなっている中、様々な意見があることは承知しています。被災者が分断され見えなくさせられていく中、また新たな大規模災害が発生するたびマスコミを始め一般の関心が集中してその前の被災地へ



高井哲也氏(無任所教師)

消息



川谷威郎氏(隠退教師)

09年11月25日、逝去。80歳。高知県に生まれる。'56年同志社大学大学院神学部を卒業、同年石橋教会に赴任、京都丸太町教会、旭川六条教会、札幌北光教会を経て、'87年千里聖愛教会を牧会し、'06年に隠退した。遺族は、妻・和子さん、堀澤司氏(隠退教師)



09年12月7日、逝去。96歳。山梨県に生まれる。'37年日本聖書学校を卒業、'40年鶴岡教会に赴任、'47年酒田晩星教会を牧会し、'88年隠退した。遺族は、息・寛司さん。

事務局報

補教師登録
佐野明子
(2009・11・28受按)

正教師登録
森島 豊
(2009・11・15受按)

村川政勝氏(原町教会牧師)
10年1月4日、逝去。59歳。北海道に生まれる。'74年日本聖書学校を卒業とともに信徒伝道者として俱



塚本彰夫氏(隠退教師)

10年1月22日、逝去。85歳。京都府に生まれる。'49年同志社大学神学部を卒業、同年舞鶴青葉教会に赴任、京都丸太町教会、石橋教会を経て、'71年より米国デンバーのシン普森合同メソジスト教会、ホノルルのウェスレー合同メソジスト教会で宣教、'88年隠退した。遺族は、妻・麗子さん。

奥羽 教師謝儀互助はどうなるの
奥原宗男

奥羽教区は、教区の宣教協力の重要事項として1989年度より教師謝儀互助制度を実施した。実施に先立ち、常置委員会は数年にわたって検討を重ね、そこで出された意見を元に、教師謝儀互助委員会を設置して集中的に検討させた上で教区総会に提案した。教区総会は再度検討するよう常置委員会に差し戻した。またまた検討を重ね、当時参考にしたようにして他教区の制度に取り入れられて

教区コラム

いた申請方式を定め、提出された謝儀実額調査書による算定方式とした。そこには誰でも遠慮なく互助の対象となり得ることを目的としている。20年間には、何度となく制度の見直しを繰り返し、その度ごとに出来得る限りの検討をし、少しでもよい制度に変更・改訂を行いつつ維持してきた。



穂積修司牧師(播磨新宮教会)

◆公募◆

《ドイツ・教会大会》

- ◎ミュンヘンで開催のエキキュメンカル教会大会に教団を代表して出席
- ◎日程 5月12日～16日
- ◎募集 教団の信徒又は教職、2名
- ◎自己負担 往復旅費
- ◎先方負担 宿泊費
- ◎応募期限 3月19日(必着)、書類選考あり

《EMS 中東聖地巡礼の旅》

- ◎他宗教・他教派との対話
- ◎日程 10月9日～23日
- ◎場所 レバノン～シリア～ヨルダン～イスラエル
- ◎自己負担 往復旅費と7万円
- ◎締切 3月19日(必着)、EMSにて書類選考あり

◎問合先 国際関係委員会 (Tel 03-3202-0544)

お詫び・訂正
4692号3面の「ハイチ大地震被災者救援募金のお願い」中、郵便振替番号に間違いがありました。正しくは、00150-2-593699になります。お詫びして、訂正させていただきます。

大坂正治、原 忠和

藤吉文佳 (2009・11・23受按)

鈴木 光・布村伸一 (2009・11・28受按)

松谷洋介・中山聖生、陣内大蔵、棚村恵子、望月麻生 (2009・11・29受按)

川添義和・末 永廣、隅野 徹・安田昌英 (2009・11・30受按)

岡田はるみ (2009・12・1受按)

大坪直史・山田 裕 (2009・12・6受按)

阿部 啓・石井和典、海老原佳奈子、葛井義顕、堀江知己・南 豊、宮本幸子 (2009・12・13受按)

教師隠退

鳥取信和 辞(代)川崎善三

塩谷一粒 就(主)廣田崇示

青山学院 辞(教)深町正信

青山学院女子短大

矢吹 辞(主)小林 充

〃 就(担)小林 充

〃 就(代)佐藤 健

普通寺 就(代)長内敬一

日野 就(代)川崎善三

都筑讀美 辞(主)園川公俊

米子 就(代)宗 盛興

教師隠退

大坂正治、原 忠和

献身のとき

No.13

NOOTOKI
KENSHIN



ここにえられるキリスト

寛 牧人(伊予長浜教会牧師)

たよつに読むのではなく、求道者のように聖書を読みなさい。私は聖書を読むように読んだ。

聖書を読み進める中で、「心の貧しい人々は幸いである、天の国はその人たちのものである。」という言葉が私を捕らえた。それまで私は「心の貧しい者」とは自分とは違う、誰か別の人間だと思っていた。しかし「空っぽ」とされた今、この「貧しい者」こそ、一片の誇りも持ち合わせていない自分であることを知らされた。けれどもその私に、生ける神であるキリストが、御自分の贖いによって「天の国」を約束してくださっているのである。成し遂げてくださったのは私ではなくこの生ける神である。

私は不信仰の中で喘いでいた。この生ける神を私は全く信頼していなかったのである。それに気づいて、初めて周りを見回すことが出来るようになった。そうすると今まで考えていたことが全部間違っていたことがわかった。私は、伊予長浜教会が何も無い教会だと思っていた。しかし違った。礼拝に必ず出席する10名弱の信者がいるのである。彼らの生活は冷静に思い出してみるならば、様々な事情を抱え、決して礼拝に毎週来ているのが当たり前ではない。けれども、毎週必ずいる。そこには人間の論理では説明できない神の奇跡があることを知った。神がその御力をもつて招いてくださった。それ以外には説明できないのである。神がこ

2004年に神学校を卒業し、愛媛県にある伊予長浜教会に伝道師として赴任した。伊予長浜教会に来て、愕然とした。人もお金も、そして伝道の可能性も何もない教会だと感じたからである。礼拝出席は10名にも満たず、財政的にも困難を極め、明日運営できなくなつてもおかしくない状況であった。また、受洗者も長く生まれず、町自体も急激な過疎化で疲弊していた。私は何とかしなければならぬと思い、我武者羅に頑張った。何よりも私自身が不安だった。真つ暗闇の中で、何か希望の光を手にとつて見たいと思ひ、頑張った。しかし、その頑張りは空回りとなり、良い結果を生み出すどころか軋轢を生んだ。そして破綻がやってきた。私は二年目の夏に病になった。何も手につかなくなる病であった。そこで自分が「空っぽ」になつてしまつたと感じた。医者に診てもらつと共に、伊予長浜教会の代務者であった牧師に相談をした。その牧師は静かに話を聴いてくれた後、言った。「汝ら静まりて我の神たるを知れ」だよ。全てをやめて、あなたの救いのために神の御言に聴きなさい。わかつ



伊予長浜教会員と共に

出版局 ニュース

<http://www.bp.uccj.or.jp>

★新刊から

『キリストこそ我が救いー日本伝道150年の歩み』日本基督教団日本伝道一五〇年記念行事準備委員会 編

1959年の宣教100年から50年間を教団はとう歩んだのか。日本伝道に大きな足跡を刻むキリスト教学校と社会福祉事業の歩みとは。歴史を振り返り、日本伝道200年に向かって進むべき道を探る。*2730円

日本基督教団事務局

教団年鑑係からのお知らせ

2009年11月に発行しました『日本基督教団年鑑2010』の「正誤表」が出ました。ご希望の方は年鑑をお求めになった書店か教団事務局まで直接お申し込みください。

なお、4月以降は教団ホームページからもダウンロードできます。

日本基督教団事務局総務部

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2丁目3の18

電話 03(3202)0541 FAX 03(3207)3918

ホームページ <http://www.uccj.or.jp>

2009年度日本基督教団宣教方策会議

日本基督教団宣教委員会委員長 小出 望

◎日時 2010年3月1日(月)午後2時〜2日(火)午後3時

◎会場 富士見町教会

◎主題講演 「今、日本基督教団の教会論を確認するー教憲に示された教会観ー」

内藤留幸(教団総幹事)

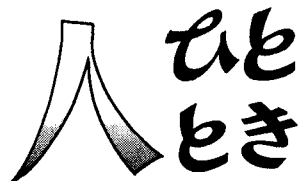
◎講 演

①「礼拝と聖餐」

芳賀 力(東京神学大学教授・東村山教会)

②「職 制」

岡本知之(西宮教会)



野坂 和子さん

わが恩恵なんちに足れり



1925年東京生まれ、東松山教会員。

笑顔の絶えない野坂さんは、小さい頃から成績優秀の人気者だった。そんな野坂さんを突然の病気が襲ったのは、女学校に入学してまもなくだった。体育の授業中に意識を失つて倒れ、相当の時間を経て意識が回復してから、猛烈な頭痛に苦しめられた。しばしば同様の発作が起り、本人は癲癇と思つたが、医師の診断と病名は変遷し結局確定しなかった。ただし発作による危険を回避するため登校は控えざるを得ず、定期試験だけで成績を判定されたが、常に首席を占め続けていたとのこと。

恩恵なんちに足れり、わが能力は弱きうちに全うせらるればなり」の御言に捉えられた。60年以上過ぎた今でも、その箇所だけは葉がはさまれている。けれども戦時下、教会へ行くことは叶わなかった。

自宅療養の毎日、読書に費やされた。悶々とする日々の中で、叔父の所有する聖書を手にする。コリント後書12章「わが

女学校卒業後は女子栄養学園に進学。クリスチャンである香川綾先生の熱心な指導に触れ、栄養士の資格も取得した。社会人となつてからは様々な職場を経験し、感銘深い信仰者との出会いもあったが、受洗には至らなかった。やがて母校の女子栄養学園に勤務することとなり、学部新設申請、大学院設置申請等の業務を中心に28年間勤め

た。そして最後の職場である武蔵丘短期大学でも設立申請を担当、開設校の最寄り駅がある東松山に居を定めた。このことが人生に決定的転機をもたらした。東松山教会へと導かれ、50年間に亘る求道を経ての洗礼を受けた「振り返れば自覚の有無にかかわらず、主の御手により最善を歩ませられてきた」と語る。若い時は激しい性格で「闘牛場の牛」と称せられたそうだが、今は穏やかな「牧場の牛」と自称する。ガルニエ・オルガンの響く礼拝堂で一礼拝者として、心の平安を与えられて過す日々。その喜びが笑顔に溢れていた。

「裁判官みたいですね」と言われた。刑務所でクリスマス礼拝をささげたときのことである。

教師は16年間担っている。当初は試行錯誤で教誨を行った。前任者からの引継ぎがなく、また他の教師からの指導もないままに始めた職務である。最初の30分は讃美歌を歌い、聖書を輪読し、解説を含めた奨励を行う。後半の30分は懇談の時とし、感想を聞いた

つもの教誨ではなく、クリスマス官から刑の宣告を受け、服役する身になったのである。裁判官から刑の宣告を聞くかのごとく、クリスマスメッセージを聞いたことになる。

ガウンの着用

時はガウンを着用したのである。クリスマス礼拝が終わり、感想を聞いたとき「裁判官みたいですね」と言われたのである。胸に突き刺さるものを感じた。そう、この人たちはガウンを着ている裁判

教誨を行しながら、出所したら皆さんも礼拝に出席することに希望を持っている。実際、その人たちが教会に行き、礼拝へと導かれたとき、講壇で説教をする裁判官を見るのであつた。

(教団書記 鈴木伸治)